




製品使用上の注意事項

1. 使用上の注意

装置の性能を十分に利用いただくために、この「製品の使用上の注意事項」をよくお読みいただき、機能や性能などを十分に理解のうえ正しくご使用ください。

2. 注意事項の表示について

 危険	取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う事柄を表示しています。
 警告	取扱を誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある事柄を表示しています。
 注意	取扱を誤った場合、身体に損傷を負う可能性、または、物的損害が発生する可能性がある事柄を表示しています。

3. 注意事項



分解・改造

ジャッキ、ポンプユニット、計測制御機器を分解・改造することは絶対に行わないでください。仕様能力を発揮できず、重大な事故や、火災等の原因となる恐れがあります。

設置

ジャッキをサンドル上に設置する場合は、ジャッキ基部に転倒防止を設置してください。また水平力は鉛直荷重の10%以上ジャッキの頭部に作用すると仮定して転倒防止を設計してください。(鋼構造架設計施工指針より)

ジャッキ底部の受け材は十分な耐力の有る部材を使用してください。強度不足により受け材が変形してジャッキが転倒する可能性があります。

感電

機材を電源設備に配線する場合は、必ず元電源を切ってから配線してください。感電する恐れがあります。

操作

ジャッキが加圧された状態から切換弁を急激に開放しないでください。重量物の落下に繋がります。ジャッキ降下時は、圧力計を見ながら切換弁(圧抜き弁)を徐々に緩めてください。

電動油圧ポンプを使用する場合、電動機に手を巻き込まれない様に注意してください。またウエス等が巻き込まれる物を近くに置かないでください。



機材選定

ジャッキに作用する荷重はジャッキ能力の70~80%、複数ジャッキを使用する場合は、1.5~2倍の容量を有するジャッキを使用してください。(鋼構造架設計施工指針より)

設置

ジャッキは垂直に設置して中心で荷重を受けてください。偏荷重によ

り重量物の破損やジャッキが転倒する可能性があります。

ジャッキは荷重受け部の中心で、垂直かつ全面で荷重を受けてください。重量部に勾配がある場合はユニバーサルヘッド付きジャッキ又は、テーパー材を使用して全面接触としてください。勾配部をそのまま受けるとジャッキヘッドの損傷やジャッキが転倒する可能性があります。

ジャッキに斜め荷重や衝撃荷重を負荷させないでください。ジャッキが転倒する可能性があります。

油圧ホースは確実に接続してください。戻りホースが接続不良の場合はジャッキが破損する可能性があります。カブラの脱着手順を参照してください。

操作

長時間にわたってジャッキにて荷重を保持する場合は、サンドル材等で荷重をサポートしてください。



設置

電源を接続する際は作業支持者の指示のもと、発電機等の取扱説明書を確認しながら作業をしてください。配線・設定の間違いによる装置の破損など重大事故に繋がる恐れがあります。

製品に強い衝撃や落下等に注意してください。作動不良や油漏れを起こすことがあります。

油圧ホースをキンクさせないでください。強度が著しく低下して油漏れの原因となります。

油圧ホースを潰さないでください。強度が著しく低下して油漏れの原因となります。

油圧ホースの外被はウレタンのため高温により損傷し油漏れの原因となります。ホース近傍で溶接等を行う場合はホース養生を行ってください。(本項及び⑬、⑭は別途請求させて頂く場合があります。)

計測制御機器のケーブルを脱着する際は、コネクタ部を持って行き確実に接続してください。ゆるみなどの原因で正しい計測値が表示されず誤操作の恐れがあります。

操作

ポンプ操作前に必ずエア抜きプラグを緩めてから使用してください。閉めた状態で使用するとハンドポンプが破損する可能性があります。

ポンプユニット内の油圧アクセサリは適切な圧力に設定されています。設定を変更する場合は、機材の取扱説明書と油圧回路をよくお読みいただき、機能や性能などを十分に理解のうえ調整を行ってください。

取扱説明書

製品を使用する際は、取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解したうえでご使用ください。

4.取扱説明書

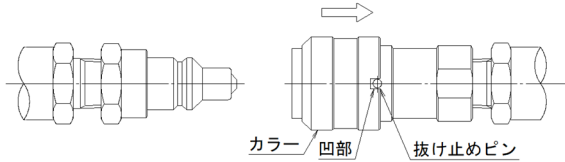
製品の取扱説明書は、ホームページからダウンロードできます。製品を使用する際は、内容を十分に理解したうえで、常に取扱説明書をお手元に置かれてご使用ください。

大瀧ジャッキ株式会社 ホームページ URL
<https://www.otaki-jack.co.jp/>

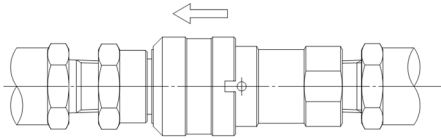
5.カップラーの脱着方法

取付け方法

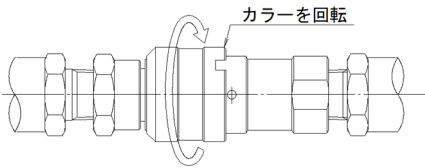
1.メスカップラーのピンと凹部を合わせてカラーを引く。



2.上記の状態からオスカップラーにしっかり押込み後、カラーから手を離す。



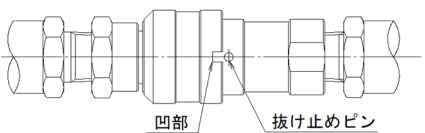
3.ピンと凹部が合わないようカラーを90°回転させる。



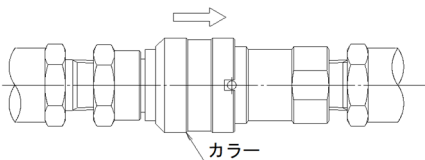
最後に油圧ホースを引っ張り、抜けなければ取付け完了です。取付け後は、必ず動作テストを行ってください。

取外し方法

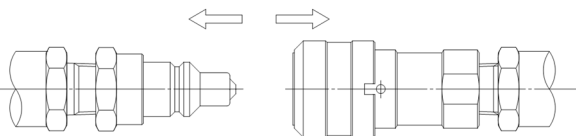
1.メスカップラーのピンと凹部を合わせる。



2.カラーを引く。



3.カップラーを分離する。



カップラーを外す際は油圧ホース内の圧力を全て抜いてください。カラーが固い時はホース内に圧力が入っています。

注意事項

1.接続時は異物がカップラーに付着していないことを確認してください。メスカップラーの装着部に異物が入っている場合は、エア、CRC、パーツクリーナー等で掃除を行ってください。

2.ホース内に圧力が入っているとカップラー同士をジョイントすることができない場合があります。内圧を除去してから接続を行ってください。この時オスカップラーの先端を強く叩かないでください。カップラーが損傷して接続できなくなります。

3.カップラーを取外す時にカラーの回転が重い場合は、ホース内に圧力が残っています。ポンプのゲージを確認して圧力を抜いてください。

4.ホースを使用しない場合は円形に巻き、最後にカブラーをジョイントしてください。カップラー部の異物付着を防止することで、異物の混入を防止できます。

5.接続後は必ずホースを引っ張り、接続の確認を行ってください。

6.ホース、カップラー接続部は毎日点検を行ってください。ホース外層の傷や変形、溶接による損傷等は特に注意してください。損傷が発見された場合はホースを交換し、営業担当者まで連絡願います。

6.連絡先

ご不明な点は、下記までお問い合わせ願います。

大瀧ジャッキ株式会社

本社	住所：東京都足立区北加平町 4-16
	電話：03-3620-0171
大阪支店	住所：兵庫県伊丹市野間北 3-4-17
	電話：072-783-1360
三郷機材センター	住所：埼玉県三郷市早稲田 8-13-9
	電話：048-958-7272